

# 香美町 農委だより

No. 40  
令和5年10月26日発行

発行 香美町農業委員会  
編集 香美町農業委員会  
情報部会

兵庫県美方郡香美町香住区香住870-1  
電話 0796-36-0846

▶世界農業遺産認定を喜ぶ(左から)西村銀三新温泉町長、浜上勇人香美町長、太田垣哲男JAたじま組合長



▲放牧されている但馬牛(村岡区)

## 県内初!!世界農業遺産に認定!!

7月5日、兵庫美方地域の「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」が国連食糧農業機関(FAO)から世界農業遺産の認定を受けました。

美方地域では、400年以上前から牛を1頭1頭大切に飼育し、明治31年(1898)日本初の牛の戸籍簿となる「牛籍簿」を整備、全国の和牛改良の先駆けとなりました。全国の黒毛和種でも唯一、地域内産にこだわった改良を続けてきた結果、独自の血統が保全され、日本の黒毛和種の貴重な遺伝資源として大きな役割を果たしています。

また、稲わらや畔草を牛に、牛ふん堆肥を稲作に利用することにより資源の循環を図り、放牧による草原維持など、地域の多様な生態系の保全に貢献しています。

世界農業遺産への認定は県内初となり、全国では15地域が認定を受けています。

## 本号の主な記事

- ◆頑張っている農家の皆さんの声 … P2～3
- ◆我が村の自慢 …………… P4
- ◆就任のあいさつ …………… P4
- ◆編集後記 …………… P4

# 我が村の自慢

シリーズ その19

## 区民の安寧を願って「提灯(ちょうちん)渡し」

わが村の夏の風物詩といえば、7月28日に斎行される七日市天満神社の「川下さん」において、古来伝承の「提灯渡し」を家族そろって見ることでした。

この神事は、向かいの島山からひとつ又ひとつと明かりの灯った提灯を繰り出していきます。提灯は途中で消えることなく無事に漆黒の夜空を神社までたどり、やがて長大に輝く龍神が社殿へと舞い降りて遷座し、区民を守護して下さるといふものです。

この神事に立ち会った人は、一様に願い事は必ず叶うと感じずには居られませんでした。しかし、時代の変化に伴い、その雄姿を再現できなくなってしまいました。それでも、本旨を体する川下さんは普遍です。

現在は、この「龍神の火」を島山の石碑前で神職が採火し、渡橙神輿にのせて神殿まで渡御する渡橙神事で斎行することで、昔と変わらない区民の安寧をご祈願しているところです。

香住区七日市 七日市天満神社総代 倉橋邦彦



▲神職が島山の石碑前で「龍神の火」を採火するようす



▲採火した「龍神の火」を渡橙神輿にのせ、神殿まで渡御するようす

## 編集後記

7月、但馬牛の飼育システムが世界農業遺産に認定されました。これは但馬牛の希少な遺伝子を後世につなぐとともに、牛と人が共存し、地域の暮らしや自然環境、伝統、文化などの保全を担ってきた農業体系が評価されたということです。自分たちが子供だった頃、飼っている牛に棚田の畔や法面の草を刈って食べさせていたのを思い出します。こういったこ

とが引き継がれ、今回の世界農業遺産の認定につながったのだらうと思います。「誠におめでとうございませう！」  
現在、我が家では米を作っています。肥料、燃料等の高騰で大変ですが、美味しい米が出来れば少しは報われるかな。  
本号の「農委だより」に寄稿いただきました皆様、ありがとうございました。  
今後のご活躍を期待しております。  
香美町農業委員会  
情報部会長 岡田 久志

## 就任のあいさつ



小代区神水 田中 憲二

〈担当地区〉  
神場・廣井・水間・野間谷・忠宮・久須部・大谷・城山・神水・石寺・猪之谷

本年度より農業委員を務めさせていただきます。皆様と一緒に農地を守り、地域活性化に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。



# 頑張っている農家の皆さんの声

## 「香住なしの道」

香住区矢田 屋麻戸 寛典さん

この度、私は香美町に新しく設置された「香住なしの学校」の第1期生として入学しました。入学に心からの喜びと緊張で胸をいっ



ばいにしています。香美町のみなさまをはじめ、果樹園芸組合のみなさま、学校設立にご尽力くだ

谷測さんはたくさんの方を教えてください。知識のない自分にとっては新しい発見も多く、勉強になることばかりです。

牛飼いは楽しいこともありますが、大変なことも多いです。休みがなく、多額の資金がかかります。自分でできないことが多く、悔しいと思う日も少なくありません。

私には夢があります。それは、研修後赤穂市に戻り、両親と一緒に牛飼�として生活することです。牛飼�になることは簡単ではありません。でも、本物の牛飼�となって自分の夢をかなえるため、1日1日を大切に頑張っています！

## 「田んぼを引き継ぐと」

小代区貫田 小林 良斉さん

農業に限らず、事を継続していくためには、何かし



なり、地域の貢献につながれば幸いです。

この学校には決まった学び舎はありません。梨山だけでなく、役場や農協、畦道、軽トラの荷台、食卓など、いろいろな場所が地域の方々と交流しながら学ぶことができます。この縁を大事にし、自分なりの考えと合わせて新しい価値を生み出せればと思っています。

香美町の二十世紀梨は、地域の絆を深めるとともに人々を結びつけるシンボルの一つとなっているのではないかと感じています。香美町での梨栽培という自分にとっての新たな道の先にどんな困難が待っているのかはわかりません。しかし、この何が起るかわからない道の中にこそ、自分の人生にとって新しい可能性が秘められていると確信し、わくわくしております。

最後になりますが、皆様のご支援とご指導に心より感謝申し上げます。ともに、期待に応えるべく頑張つて

例え、私の場合は気心の知れたメンバーと共に作業し、時には作業後に酒を酌み交わしたりすることが楽しかったり、収穫した米が売れることに喜びを感じます。

また、私たちが耕作しているうへ山の棚田には、その景観を求めて多くの人が訪れてくることもその一つです。

私の家でも5反ほど耕作しておりますが、幸い両親が健在のため、私は田植えと稲刈り、時々草刈りを応援するくらいです。とこ

いきます。

## 「私の夢」

村岡区長瀬 西村 ふしぎさん

私は、令和5年4月から令和8年3月まで、兵庫県の新規就農制度を利用して、谷測畜産で研修させていた

実は、私の両親が現在赤穂市で20頭の但馬牛を飼育しています。5歳の頃、父の知人の牛飼�の方のところに牛を見に行つた時、初めて見た但馬牛にすごく興味を持ちました。それから、毎日「牛がほしい」と両親におねだりしたのを覚えていています。もともと両親は牛飼�ではありませんでしたが、小学1年生のときに家に帰ると庭に大きな但馬牛がいました。



そこから我が家では牛飼�生活が始まり、今年で15年がたちます。

私は牛飼�をしている両親の背中を見て「牛飼�になりたい！」と強く思うようになり、高校では畜産を専攻しました。その後、加西の兵庫県立農業大学校に入学して畜産や但馬牛について学びました。

しかし、牛飼�になるためには但馬牛の本場である但馬でもっと勉強が必要だと思い、現在は本場但馬にある谷測畜産で一生懸命働いています。

### 令和5年4月～農地の貸し借りの法律が変わります

新たに農地を貸し借りする時の手続き

- 1 農業者と地域の皆さんでこれから話し合う(いきいき農地バンク方式)
- 2 地域農業の将来図(地域計画)を作る
- 3 農地バンクを通じた農地の貸し借りを行う

公益社団法人ひょうご農林機構  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通5-7-18 (兵庫県下山手分室内)  
TEL.078-361-8114 (農地対策農地活用課) / FAX.078-361-8128

地域計画の作成及び農地の貸し借りは、最寄りの市町にお問い合わせください